

# 白熱 教室

in

多摩・一橋大学

## 第1部

岸井成格さんと  
高校生・大学生50人の  
白熱バトル

「18歳選挙権で  
社会は変えられるのか？」

## 第2部

只野雅人教授  
「憲法からみた18歳選挙権」

コーディネーター：  
藤原真由美弁護士

入場無料

事前申込不要(先着200名)

●手話通訳・託児所あります  
(詳細ウラ面)

共催：東京三弁護士会多摩支部  
一橋大学法学研究科

後援：国立市・小金井市  
国分寺市・立川市  
八王子市選挙管理委員会

2017 3.19(日)  
13:30~  
(13:00開場)  
17:00



お問い合わせ：東京三弁護士会多摩支部事務局

042-548-3800

# 白熱教室



多摩・一橋大学

2017 3.19 (日)  
13:30~17:00  
(13:00開場)

第1部 ●手話通訳あります  
**岸井成格**さんと  
高校生・大学生50人の白熱バトル  
「18歳選挙権で社会は変えられるのか？」

第2部  
**只野雅人**教授「憲法からみた18歳選挙権」  
コーディネーター：藤原真由美 弁護士

入場無料・事前申込不要(先着200名)

●託児所あります お子様連れの参加歓迎します  
対象：未就学児／申込み：3月9日まで  
※問い合わせ先までお電話ください。  
※定員がありますのでお早めにお申し込みください。  
※お子様の健康状態によっては、お引き受けできない  
ことがありますのでご了承ください。

共催：東京三弁護士会多摩支部・一橋大学法学研究科  
後援：国立市・小金井市・国分寺市・立川市  
八王子市選挙管理委員会

お問い合わせ：東京三弁護士会多摩支部事務局

☎ 042-548-3800

18歳から選挙ができるようになりました。しかし、「どうせ自分の1票で社会なんか変わらないよ」なんて思っていないですか？そもそも、私たちはなぜ選挙をしなければならないのでしょうか？海外では選挙によってイギリスがEUから離脱することが決まりました。アメリカでは予想を覆しトランプ大統領が誕生しています。日本国憲法には、主権者国民に選挙権が保障されています。「選挙をする」「選挙権を行使する」ことは、この社会でどのような力を持っているのでしょうか。社会や民主主義にとって選挙とはどのような意味を持っているのでしょうか。毎日新聞政治部記者として長年選挙を見つめてきた岸井成格さんと若者たちの白熱バトル、憲法研究者で選挙権に造詣の深い只野教授の講義をご覧になって、若者も大人も一緒になって「選挙」の可能性を考えてみませんか？



岸井成格さん



只野雅人教授

岸井成格 (きしいしげたけ)

1944年生まれ。東京都出身。慶應義塾大学法学部卒業。67年毎日新聞社入社。熊本支局、政治部、ワシントン特派員を経て、91年論説委員。その後、政治部長、編集局次長、論説委員長、主筆を経て、現在は特別編集委員。2016年3月までTBS「NEWS23」アンカー。TBS「サンデーモーニング」コメンテーター。

只野雅人 (ただのまさひと)

1964年生まれ。東京都出身。一橋大学法学部卒業。憲法学者。一橋大学法学研究科教授。代表民主政、議会制度、選挙制度、フランス憲法を中心に研究している。主要な著作として、『選挙制度と代表制』(勁草書房、1995年)、『憲法と議会制度』(共著、法律文化社、2007年)などがある。

白熱  
教室  
@



一橋大学国立西キャンパス  
本館2階21番教室

東京都国立市中2-1

- JR国立駅南口徒歩10分
- JR谷保駅北口徒歩20分

